



平和登校日

8月9日の平和登校日、本校の児童生徒が地域住民の皆様へ平和学習の成果を発表いたしました。今年度から、集会の場を地域に開き、開発センターで実施したのですが、14名の島民の方々に来場いただき、児童生徒の発表を見ていただきました。誠にありがとうございました。

小学生は、浦上天主堂の2つ目の鐘が昨年80年ぶりに揃った経緯に触れながら、これからの世界平和を訴えました。

中学生は、現在なお続く、ウクライナ戦争、ガザ戦争、スーダン内戦、イラン戦争について戦争に至った背景と現状について触れ、平和根の願いを述べました。

島の豊かな自然と温かな人々に囲まれて過ごす「**日常こそが平和の原点である**」と、子どもたち一人ひとりが実感する貴重な機会となりました。ご来場いただいた地域の皆様、温かい眼差しと励ましの言葉を誠にありがとうございました。子どもたちが発信した平和のメッセージを未来へとつなぎ、これからも地域とともに平和を尊ぶ心を育んでまいります。今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

発表後は、紹介、平和への願いを込めた合唱、平和公園での祈念式典の映像視聴を行い、黙とうで締めくくりました。





<小学生>

光あび 鐘の音ひとつ きえうせて
もどった鐘に かさねる祈り

<中学生>

白い鳥 見えなくなって 熱が冷め
思い出したい あのときの記憶

平和学習にかかわって句も作成しました。

